

## 令和3年度（第70回）「神奈川スポーツ賞」、「神奈川スポーツ賞・オリンピック賞」及び「神奈川スポーツ賞・パラリンピック賞」の受賞者プロフィール

### 神奈川スポーツ賞

#### ●水泳●

おがた そう

**小方 颯** (18歳)



幼少期から水泳をはじめ、小学生の頃から才能が開花。飛び級で選手コースに入り、その実力を伸ばしていき、小学校・中学校では、全国で活躍する。

高校は競泳の強豪、日本大学高等学校に進学。1年生で出場した令和元年度全国高等学校総合体育大会では、200m個人メドレー、400m個人メドレーで優勝し、2冠を達成。次いで第74回国民体育大会では、男子少年B200m個人メドレー優勝、4×100mメドレーリレーと4×100mフリーリレーのメンバーとして優勝、第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会では、男子15～16歳200m個人メドレー、400m個人メドレー、200mバタフライで優勝した。

コロナ禍において、全国規模の大会が開催されない状況が続いたが、令和3年2月に行なわれたジャパンオープン2020では、200m個人メドレー、400m個人メドレーにおいて5位、令和3年4月に行なわれた第97回日本選手権水泳競技大会2021兼第32回オリンピック競技大会(2020/東京)代表選手選考会では、400m個人メドレーにおいて6位という高校生ながら優秀な成績を修めた。

高校最後の全国高等学校総合体育大会では、200m個人メドレー、400m個人メドレーにおいて、他を寄せ付けない圧巻の泳ぎで優勝し、2種目2連覇を飾った。

「パリ五輪は絶対に行きたいし、自分がこの代を引っ張っていきたい」と語る、次世代の個人メドレーのエースに今後も注目である。

日本大学高等学校3年生  
[相模原市]



## 神奈川県スポーツ賞

### ●ラグビーフットボール●

とういんがくえんこうとうがっこう

ぶ

## 桐蔭学園高等学校ラグビー部

昭和 39 年に開校とともに創部されたラグビー部は、第 76 回（平成 8 年）全国高等学校ラグビーフットボール大会に初出場し、第 90 回大会では初の全国優勝（同点で両校優勝）を果たした。

平成から令和に変わった第 99 回全国高等学校ラグビーフットボール大会では、悲願の単独優勝（9 年ぶり 2 回目）を達成した。

翌年の第 100 回全国高等学校ラグビーフットボール記念大会では、県予選決勝で辛くも出場権を獲得したことから「花園の連覇は厳しいのではないか」との声もあったが、伝統の「継続ラグビー」を武器に、1 回戦の茗溪学園（茨城県）を 36-7、2 回戦での日本航空石川（石川県）を 37-0、3 回戦の仙台育英（宮城県）を 53-3、準々決勝の御所実業を 50-7、準決勝の大阪朝鮮（大阪第二）を 40-12 と圧勝し勝ち上がった。

試合を重ねるごとに調子をあげ、迎えた決勝戦では、京都成章（京都府）を相手に、前半は、相手の激しい守備に苦戦するも、後半、フィジカルの強さやフィットネスの高さなど総合力で優位に立つと、一気に畳みかけ 32-15 で勝利した。スローガンにしていた「貫」の言葉どおり、チームのスタイルを貫き、史上 9 校目、神奈川県勢としては 26 年ぶりの大会連覇で 3 回目の優勝を果たした。

新たなスタイルにも挑戦し、さらなる高みを目指すチームは、今後の活躍も大いに期待される。

[横浜市]



## 神奈川県スポーツ賞

### ●野球●

とうかいだいがくふぞくさがみこうとうがっこうやきゅうぶ

## 東海大学付属相模高等学校野球部

昭和 38 年の開校とともに創部された野球部は令和 2 年度までに、選抜高等学校野球大会に 11 回出場（2 回優勝）、全国高等学校野球選手権大会に 11 回出場（2 回優勝）している全国の強豪校である。

そして、同校野球部は、令和 3 年に 2 年連続 12 回目の出場となった第 93 回選抜高等学校野球大会において、10 年ぶり 3 度目の優勝を果たした。

初戦は、2020 年（第 73 回）秋季関東地区高等学校野球大会においてサヨナラ負けを喫した東海大甲府（山梨）に、延長 11 回の死闘を制し、見事雪辱を晴らした。2 回戦、鳥取城北（鳥取）とは投手戦となったが、1 - 0 と競り勝った。

準々決勝を前に、攻守の要であるキャプテンが戦線離脱を余儀なくされるも、チームの団結力で福岡大大濠（福岡）に 8 - 0、続く準決勝の天理（奈良）にも 2 - 0 と順調に勝ち上がった。

決勝戦は、初優勝をめざす明豊（大分）に 2 度先行されるも粘り強く追いつき、2 対 2 で迎えた 9 回裏、1 死満塁から小島大河（こじまたいが）選手が遊撃手を強襲するヒットを放ち、劇的なサヨナラ勝ちを収めた。

甲子園大会制覇は春夏通算 5 度目。常勝チームとして躍動し続ける縦縞のユニフォームは、今後も大いに期待できる存在である。

## 神奈川スポーツ賞・オリンピック賞

### ●ソフトボール●

やまだ えり

**山田 恵里** (37歳)



東京 2020 オリンピック競技大会のソフトボール競技において、金メダルを獲得した。ポジションは外野手。

家族の影響で小学1年生から野球を始め、藤沢市立御所見中学校では男子野球部に所属し、中学3年生では不動の1番バッターを務めた。高校からソフトボールへ転向し、県立厚木商業高等学校入学後は全国高等学校女子ソフトボール選抜大会・全国高等学校総合体育大会の2冠を2年連続で達成している。

社会人1年目には数々のリーグ記録を塗り替え、その後は打撃部門の全ての賞を獲得。日本リーグでは通算本塁打、通算打点、通算安打数などで歴代1位となる記録を多数達成し、首位打者も4度獲得するなど、その卓越したソフトボールセンスから「女イチロー」とも言われる。

2004年のアテネ大会、2008年の北京大会に続き3大会連続出場となった東京 2020 オリンピック競技大会では、北京大会に続き主将を務め、カナダ戦では8回裏に値千金のサヨナラヒットで試合を制し、チームの決勝進出に大きく貢献した。

ソフトボールがオリンピック競技種目として再度復活するよう、ソフトボール界の更なる振興に向けた活躍が期待される。

[愛知県]

## 神奈川県スポーツ賞・オリンピック賞

### ●ソフトボール●

きよはら なゆ

**清原 奈侑** (30歳)



東京 2020 オリンピック競技大会のソフトボール競技において、金メダルを獲得した。ポジションは捕手。

家族の影響で小学1年生から野球を始め、中学からソフトボールに転向し、高校では全国高等学校総合体育大会で優勝、大学では全日本学生選手権で2連覇を果たしている。

社会人となってからは、日本リーグにおいてルーキーイヤーから正捕手として投手陣をリードし、2018年にベストナイン賞を受賞、2019年からは主将としてチームを牽引するなど、チームの中心選手として活躍している。

また、本県代表として国民体育大会に出場し、2回の優勝に貢献している。

東京 2020 オリンピック競技大会では、初戦のオーストラリア戦で2死満塁のピンチを安定したリードで三振に打ち取り、日本代表チームの好スタートを飾った。

ソフトボールがオリンピック競技種目として再度復活するよう、ソフトボール界の更なる振興に向けた活躍が期待される。

[横浜市]

## 神奈川県スポーツ賞・オリンピック賞

### ●柔道●

たかとう なおひさ

**高藤 直寿** (28歳)



©Kazuyuki Ogawa

東京 2020 オリンピック競技大会の柔道競技において、男子 60kg 級で今大会の日本勢第 1 号となる金メダルを獲得した。

家族の影響を受け小学 1 年生から柔道を始めた。東海大学付属相模中学校に入学し、全国中学校柔道大会男子 60kg 級で優勝。東海大学付属相模高等学校では全国高等学校総合体育大会男子 60kg 級で 2 連覇を果たした。高校 3 年生の全日本ジュニア体重別選手権大会では、大学生も出場する中、見事優勝するなど、早くから将来を囑望される存在であった。

東海大学進学後、2 年生の時に世界柔道選手権大会を制し世界一となった。2016 年 4 月にパーク 2 4 株式会社に入社、同年のリオデジャネイロオリンピック競技大会では銅メダルを獲得した。世界柔道選手権大会を 2017 年、2018 年と連覇するなど、着実に国際大会で結果を積み、東京 2020 オリンピック競技大会に向けて自身を磨き上げてきた。

東京 2020 オリンピック競技大会では、3 度の延長戦を乗り越え、かねてから言い続けていた「東京では必ず金メダルを取る」という言葉どおり、悲願の金メダル獲得を果たした。

3 年後の 2024 年パリオリンピック競技大会に向けて更なる活躍が期待される。

パーク 2 4 株式会社  
[相模原市]

## 神奈川県スポーツ賞・オリンピック賞

### ●バスケットボール●

みやざわ ゆき

**宮澤 夕貴** (28歳)



©JBA

東京 2020 オリンピック競技大会の女子バスケットボール競技において、銀メダルを獲得した。

バスケットボールは家族の影響で小学1年生から始めた。横浜市立岡津中学校卒業後、県立金沢総合高等学校に進学し、2010年の国体には神奈川県代表として出場、2011年の全国高等学校総合体育大会では優勝を果たすなど、学生時代から頭角を現していた。

社会人になってからは、Wリーグベスト5に5度選出され、皇后杯 MVP を2年連続獲得するなど大いに活躍している。

また、2013年からは日本代表に選ばれ、アジアカップ4連覇に貢献、2016年リオデジャネイロオリンピック競技大会に出場した際にはベスト8入りを果たした。

東京 2020 オリンピック競技大会においては、大会前の故障を乗り越え、3ポイントシュートを武器に得点を重ね、準々決勝のベルギー戦ではチーム最多となる21得点を挙げたほか、3ポイントシュート成功数が今大会個人最多19本を記録するなど、日本バスケットボール史上初となるオリンピックでのメダル獲得に大きく貢献した。

3年後の2024年パリオリンピック競技大会に向けて更なる躍進が期待される。

富士通レッドウェーブ  
[川崎市]

## 神奈川県スポーツ賞・オリンピック賞

### ●水泳●

ほんだ            ともる  
**本多            灯** (19歳)



東京 2020 オリンピック競技大会の水泳・競泳競技において、男子 200m バタフライで銀メダルを獲得した。

水泳は家族の影響で幼稚園から始め、5歳から通い始めたアリーナつきみ野スポーツクラブを今も練習拠点としている。小学4年生で全国大会に初出場すると、鶴見大学附属中学校在学時に中学3年生で全国大会初優勝を達成した。同中学校卒業後は日本大学藤沢高等学校に進学し、2017年から2019年の国体に神奈川県代表として3年連続出場し、個人・団体で通算5回優勝したほか、2019年の世界ジュニア水泳選手権で準優勝を飾り、若手有望選手として注目を集める存在となった。

高校卒業後は日本大学に進学し、2020年の日本学生選手権大会で2冠を達成するとともに、日本選手権2連覇を果たし、オリンピック代表に選出された。

オリンピックは東京 2020 オリンピック競技大会が初出場となり、不利とされる8レーンからのスタートながら、得意とするラスト50mからの追い上げでトップを猛追し、自己ベスト記録の渾身の泳ぎで銀メダル獲得を果たした。

3年後の2024年パリオリンピック競技大会に向けて更なる飛躍が期待される。

日本大学2年生／アリーナつきみ野スポーツクラブ  
[横浜市]



## 神奈川スポーツ賞・オリンピック賞

### ●サーフィン●

つづき あむろ

**都筑 有夢路** (20歳)



©Ripcurl Japan

東京 2020 オリンピック競技大会のサーフィン競技において、銅メダルを獲得した。

サーフィンはサーフィン一家の家族の影響で小学5年生頃から始め、鵜沼海岸に日々通い詰めた。

藤沢市立湘洋中学校に進学後は、2014年にGo Pro JUNIOR GAMES U-20 girls大会での準優勝を皮切りに、第33回全日本級別サーフィン選手権大会で3位入賞、9th ALLJAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2015 準優勝と、次々に好成績を取めるようになる。

その後、鹿島学園高等学校湘南キャンパスに進学し、通信制で学びながら、国内、国外の大会を転戦し、2019年のWSL QS10000 ABANCA Galicia Classic Surf Pro大会では日本人女子初優勝、WSL World Junior Championship大会では日本人初優勝を果たすなど、その活躍は枚挙にいとまがない。

サーフィンが初めて正式種目となった東京2020オリンピック競技大会では、競技当日は台風の影響で海が大きく荒れていたが、準決勝で実力を十分に発揮できなかった悔しさを糧に3位決定戦を制し、銅メダルに輝くとともに、オリンピックのサーフィン競技における日本勢初代メダリストとなった。

3年後の2024年パリオリンピック競技大会に向けて更なる飛躍が期待される。

[藤沢市]

## 神奈川県スポーツ賞・パラリンピック賞

### ●車いすバスケットボール●

ふるさわ たくや

**古澤 拓也** (25 歳)



東京 2020 パラリンピック競技大会、車いすバスケットボール男子の日本代表選手として出場し、史上初のメダルとなる銀メダルを獲得した。

先天性疾患（二分脊椎症）とその合併症の影響で、小学6年から車いすでの生活となる。元々運動が好きだったこともあり、車いすでの生活になってからも様々なスポーツに取り組むが、体験教室で指導を受けたことをきっかけに、社会人クラブに所属、中学1年から車いすバスケットボールを本格的に始める。中学3年時にジュニア育成合宿に呼ばれてからは、ますます競技にのめり込むようになり、2013年（高校2年時）にはU23世界選手権に日本代表として出場、2016年にはU23日本代表のキャプテンに就任。リオ2016パラリンピック競技大会での日本代表入りは逃すも、2017年のU23世界選手権では、キャプテンとして日本のベスト4進出に貢献するとともに、大会のプレイヤーベスト5に選出されるなど活躍した。その後同年のIWBFアジアオセアニアチャンピオンシップで、日本代表として初出場、2018年世界選手権の日本代表にも選出された。今年度から株式会社WOWOWに所属、自身にとって初めてのパラリンピック出場となった東京2020パラリンピック競技大会では、全8試合に出場し、日本の銀メダル獲得に貢献。メダル獲得は日本車いすバスケットボール男子史上初の快挙となった。

[横浜市]

## 神奈川県スポーツ賞・パラリンピック賞

### ●ゴールボール●

かけはた えいこ

**欠端 瑛子** (28歳)



東京 2020 パラリンピック競技大会、ゴールボール女子の日本代表選手として出場し、2大会ぶりのメダルとなる銅メダルを獲得した。

横浜市出身。先天性白皮症による弱視のため、小さい頃から家で過ごすことが多かったが、横浜市立盲特別支援学校在学中、体育の授業でゴールボールを知り、友人から誘われたことをきっかけに競技を開始した。その後学校で出場した大会を視察していた日本代表スタッフの目に留まり、練習生として日本代表に帯同するようになる。横浜美術大学在学中には、自身初のパラリンピックとなるロンドン 2012 パラリンピック競技大会に出場。日本代表チームは金メダルを獲得したものの、自らは決勝戦の舞台に立つことができなかった。

2度目のパラリンピック出場となったリオ 2016 パラリンピック競技大会では、主力として臨んだが、準々決勝で敗れ5位入賞に終わった。

過去2度のパラリンピック出場の経験を活かした活躍が期待された東京 2020 パラリンピック競技大会では、予選3試合目まで得点がなかったものの、予選4試合目のエジプト戦で3得点を記録し、決勝トーナメントへ進出。その後の準決勝で敗退したが、最終戦となった3位決定戦では、得意の「回転投げ」が威力を発揮し、先制点を含む3得点を記録、ブラジル相手に6対1で勝利し、銅メダル獲得に大きく貢献した。

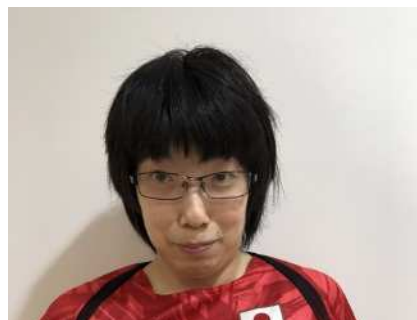
[横浜市]

## 神奈川スポーツ賞・パラリンピック賞

### ●卓球●

いとう まき

**伊藤 真紀** (37 歳)



東京 2020 パラリンピック競技大会において、卓球女子シングルスクラス 11 (知的障がい) 日本代表選手として出場し、同クラス史上初の銅メダルを獲得した。

中学校の部活動で卓球を始め、現在はCTCひなり株式会社に所属しながら、日々の練習に取り組んでいる。ラケットを浅く握る独特の握り方で、「粒高」と呼ばれるラバーを張り不規則な回転を繰り出すバックハンドと、近年強化してきたフォアハンドの強打を武器に、相手を翻弄するプレースタイルが持ち味。1998年に初めて国際大会に出場し、同クラスで日本トップレベルの選手として世界の舞台でも活躍。2014年に行われた世界選手権では、団体戦で金メダルを獲得。2019年パラ・アジア選手権では個人で準優勝、2020年パラスペインオープン団体戦でも準優勝するなど、長年に渡りこのクラスを引っ張ってきた。

前回大会であるリオ 2016 パラリンピック競技大会では、予選リーグで敗退となったが、2大会連続での出場となる東京 2020 パラリンピック競技大会に出場。予選リーグでは、1勝2敗の成績だったが、ゲーム率計算で2位通過を決めた。準決勝ではフランス代表選手と対戦し敗戦したものの、堂々としたプレーを貫き、健闘した。

パラリンピックの卓球で日本がメダルを獲得したのは、シドニー2000パラリンピック競技大会以来5大会ぶりであり、卓球の同クラスでは日本史上初の快挙であった。

[鎌倉市]

## 神奈川スポーツ賞・パラリンピック賞

### ●トライアスロン●

よねおか さとる

**米岡 聡** (36 歳)



東京 2020 パラリンピック競技大会において、トライアスロン男子のクラス PTVI（視覚障がい）日本代表選手として出場し、銅メダルを獲得した。トライアスロンは、前回のリオ 2016 パラリンピック競技大会からパラリンピック競技大会で実施されているが、男子のクラス PTS4（運動機能障がい）で銀メダルを獲得した宇田秀生選手とともに、日本勢として初のメダル獲得となった。

愛甲郡清川村で生まれ、県立平塚盲学校を卒業、現在は東京都東村山市を拠点に日々の練習に取り組んでいる。10 歳の時に網膜剥離を発症し、悪化を避けるため激しい運動を避けていたが、20 歳の時にランニングを開始、25 歳で視力をほぼ完全に失ったが、その後本格的にブラインドマラソンに挑戦を始める。2013 年にはトライアスロンにも取り組み始め、同年 5 月に初めてトライアスロン大会へ出場した。その後は 2019 年 ASTC アジアパラトライアスロン選手権優勝、2020 年 ITU 世界パラトライアスロンシリーズ・デボンポート大会 5 位など、国際大会での実績を着実に積み上げるようになる。2020 年には、第 69 回別府大分毎日マラソン大会（男子視覚障がい）5 位、2021 年にはワールドトライアスロンパラシリーズ横浜大会 4 位と、両競技で活躍を続けている。

東京 2020 大会では、苦手としていた第 1 種目の水泳(0.75km)を 2 位で通過し、第 2 種目のバイク(20km)で 4 位へ順位を落としたものの、最終種目のラン(5km)で粘りの走りをみせ、銅メダルを獲得した。

[東京都]